令和5年度4月 第1回 あま市農業委員会総会議事録

開催日時 令和5年4月20日(木) 午前11時00分 ~ 午前11時30分

開催場所 あま市シルバーカレッジ

出席者

農業委員会委員			農地利用最適化推進委員		
議席番号	氏名	出欠	番号	氏名	出欠
1	太田 昌史	出席	推1	櫻井 博文	出席
2	辻本 雅之	出席	推2	毛利 康夫	出席
3	山田 昌弘	出席	推3	村上 英夫	出席
4	近藤 哲夫	出席	推4	伊藤 幸夫	出席
5	竹嶋 肇	出席	推5	小鹿 正実	出席
6	宮崎 君恵	出席	推6	竹田 隆義	欠席
7	片岡 伴造	出席	推7	大平 悦司	出席
8	木全 和光	出席	推8	丹羽 敦	出席
9	山田 英史	出席	推9	水谷 鋼造	出席
10	木村 日登美	出席			
11	鈴木 義雄	出席			
12	近藤 善成	出席			
13	武藤 多津美	出席			
14	塚本 隆啓	出席			

議案説明及び会議に職務の為出席した者

職名	氏名	職名	氏名
局長	今枝 勲男	書記	伊藤 秀樹
			吉田 仁美

傍 聴 人 なし

提 出 議 案

日程第1	議事録署名委員の指名
日程第2	会期の決定
日程第3	議案第2号 農地法第3条の規定による許可申請について
日程第4	議案第3号 農地法第5条第1項の規定による許可申請について
日程第5	議案第4号 現況証明について
日程第6	議案第5号 農地法第3条第2項第5号の規定により農業委員会が定めていた別段の面積（下限面積）の撤廃について
日程第7	報告第1号 農地法第4条第1項第8号の規定による届出について
	報告第2号 農地法第5条第1項第7号の規定による届出について
	報告第3号 農地法第18条第6項の規定による通知について

議 長

(あいさつ)

本日の出席につきましては、農業委員の出席数は14人、推進委員の出席数は8人です。竹田委員が欠席となっております。

定足数に達していますので、令和5年度4月あま市農業委員会総会を開会します。

本日の議案日程はお手元に配布のとおりです。

議 長

日程第1「議事録署名委員の指名」を行います。

4番近藤哲夫委員及び5番竹嶋委員を指名します。

議 長

日程第2「会期の決定」を議題とします。

本総会の会期は、本日1日限りとしたいと思います。

これにご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

議 長

異議なしと認めます。よって本総会の会期は、本日1日限りと決定しました。

議 長

日程第3 議案第2号「農地法第3条の規定による許可申請について」を議題とします。

この議案には村上委員に関する事項があります。あま市農業委員会総会規則17条の規定により、村上委員には一時退席していただきます。

(村上委員退席)

それでは、事務局の説明をお願いします。

事務局

(説 明)

議案第2号について説明いたします。

1番につきまして説明いたします。

参考資料は1～2ページです。

譲受人・譲渡人は、議案のとおりとなっております、申請地は乙之子楠島地内の田の所有権移転による経営拡大となっております。

2番につきまして説明いたします。

参考資料は3～4ページです。

譲受人・譲渡人は、議案のとおりとなっております、申請地は七宝町伊福蓮池地内の田の所有権移転による経営拡大となっております。

3番につきまして説明いたします。

参考資料は5～6ページです。

譲受人・譲渡人は、議案のとおりとなっており、申請地は方領西六反地地内の田の所有権移転による経営拡大となっております。

4 番につきまして説明いたします。

参考資料は7～8 ページです。

譲受人・譲渡人は、議案のとおりとなっており、申請地は七宝町伊福薬師地内の田の所有権移転による経営拡大となっております。

5 番につきまして説明いたします。

参考資料は9～13 ページです。

譲受人・譲渡人は、議案のとおりとなっており、申請地は七宝町川部市ノ坪、三反田、植田地内の田、畑の所有権移転による経営拡大となっております。

6 番につきまして説明いたします。

参考資料は14～19 ページです。

譲受人・譲渡人は、議案のとおりとなっており、申請地は七宝町川部市ノ坪、植田、三反田、瀬木戸地内の田、畑の所有権移転による経営拡大となっております。

7 番につきまして説明いたします。

参考資料は20～25 ページです。

譲受人・譲渡人は、議案のとおりとなっており、申請地は七宝町川部瀬木戸、市ノ坪、三反田、吉原地内の田の所有権移転による経営拡大となっております。

8 番につきまして説明いたします。

参考資料は26～27 ページです。

譲受人・譲渡人は、議案のとおりとなっており、申請地は七宝町川部瀬木戸地内の田の所有権移転による経営拡大となっております。

以上、譲受人等の経営農地に不法転用は無く、営農計画等も特に問題等はありませんでした。

こちらにつきましては、4月17日に近藤哲夫委員と伊藤委員と現地確認をさせていただいております。

どうぞよろしく願いいたします。

議 長 議案第2号につきましては、近藤哲夫委員と伊藤委員に現地確認を行っていただきましたが、近藤哲夫委員から現地の状況について報告願います。

近藤委員 議案第2号につきましては、現地を確認しましたが、農地の耕作について問題はありませんでした。

議 長 ただ今、事務局及び近藤哲夫委員と伊藤委員から説明・報告がありました、議案第2号について、何かご質問等はございますか。

議 長 ご質問もないようですので採決に移ります。

議案第2号を承認することに賛成する農業委員の挙手を求めます。

(全員挙手)

議長 全員挙手です。よって、議案第2号は承認されました。
それでは、村上委員に戻っていただきます。

(村上委員 入室)

議長 日程第4 議案第3号「農地法第5条第1項の規定による許可申請について」
を議題とします。

それでは、事務局の説明をお願いします。

事務局

(説明)

議案第3号について説明いたします。

1番につきまして説明いたします。

参考資料は28～30ページです。

譲受人・譲渡人は、議案のとおりとなっており、申請地は七宝町下之森八之坪地内の田、畑で、駐車場への転用で、所有権移転となっております。譲受人は、申請地の東に本社を置き、一般区域貨物自動車運送業を営んでおります。

現在の当社敷地では、営業用トラックの駐車スペースでいっぱいとなっており、社員用の駐車場が確保できない状況となっているため、申請地に社員用駐車場を新設するための申請となっております。一般基準も満たしており、立地基準においては、住宅等が連たんしている区域に近接する区域の農地で10ha未満であるもので、農地区分は、第2種農地に区分されます。日常生活上必要な施設で、集落に接続しているため、転用の許可が見込めます。

2番につきまして説明いたします。

参考資料は31～33ページです。

借受人・貸渡人は、議案のとおりとなっており、申請地は中橋郷中地内の田で、一般個人住宅への転用で、使用貸借権設定となっております。生活環境変化に伴い、現在の居宅が手狭となったため、隣接地の本家の敷地の一部と併せて分家住宅を建設するための申請となっております。一般基準も満たしており、立地基準においては、住宅等が連たんしている区域に近接する区域の農地で10ha未満であるもので、農地区分は、第2種農地に区分されます。周辺の他の土地を利用することが困難なため、転用の許可が見込めます。

3番につきまして説明いたします。

参考資料は34～36ページです。

賃借人・賃貸人は、議案のとおりとなっており、申請地は中橋郷東地内の田

で、資材置場への転用で、賃借権設定となっております。賃貸人はあま市蜂須賀地内に本社を置き、土木工事業を営んでおります。現在申請地南側に資材置場を借り受けていますが、土地の所有者より返却してほしいとの申し入れがあり、返却せざるを得ない状況です。現在の場所がトラック等の交通において利便性が良いため、申請地に資材置場を新設するための申請となっております。一般基準も満たしており、立地基準においては、住宅等が連たんしている区域に近接する区域の農地で10ha未満であるもので、農地区分は、第2種農地に区分されます。業務上必要な施設で集落に接続しているため、転用の許可が見込めます。

4番につきまして説明いたします。

参考資料は37～39ページです。

譲受人・譲渡人は、議案のとおりとなっております。申請地は七宝町川部八反田地内の田、畑で、駐車場及び資材置場への転用で、所有権移転となっております。譲受人は申請地の南に本社を置き、合成樹脂成型用金型の設計、製造、販売業を営んでおります。現在の本社敷地では、製品の保管と資材の置場スペースでいっぱいとなっております。資材搬入トラックや、社員・来客用の駐車場が確保できない状況となっているため、申請地に社員用、来客用、資材搬入トラックの駐車場及び資材置場を新設するための申請となっております。一般基準も満たしており、立地基準においては、住宅等が連たんしている区域に近接する区域の農地で10ha未満であるもので、農地区分は、第2種農地に区分されます。周辺の他の土地を利用することが困難なため、転用の許可が見込めます。

5番につきまして説明いたします。

参考資料は40～42ページです。

譲受人・譲渡人は、議案のとおりとなっております。申請地は丹波中屋敷地内の畑で、一般個人住宅への転用で、使用賃借権設定となっております。生活環境変化に伴い、現在の居宅が手狭となったため、分家住宅を建設するための申請となっております。一般基準も満たしており、立地基準においては、街区に占める宅地の割合が40%を超えている杭に基ある農地で、農地区分は、第3種農地に区分されます。第3種農地のため、転用の許可が見込めます。

こちらにつきましては、4月18日に海部農林水産事務所と現地調査をさせていただいております。また、4月17日には近藤哲夫委員と伊藤委員と現地調査をさせていただいております。

議 長 近藤哲夫委員と伊藤委員に現地確認を行っていただきましたが、近藤哲夫委員から現地の状況について報告願います。

近藤委員 議案第3号につきましては、現地を確認しましたが、農地の耕作について問題はありませんでした。

しかし、3番の農地については、現状の資材置場の土砂が山積みとなってい

るため、隣接の農業用水路への流入をしないように、対策をお願いします。また、関係法令の順守を指導していただくようお願いします。

議長 　ただ今、事務局及び近藤委員から説明・報告がありました、議案第3号について、何かご質問等はございますか。

議長 　ご質問もないようですので採決に移ります。
議案第3号を承認することに賛成する農業委員の挙手を求めます。

(挙手全員)

議長 　挙手全員です。よって、議案第3号は承認されました。

議長 　日程第5 議案第4号「現況証明について」を議題とします。
それでは、事務局の説明をお願いします。

事務局 　(説明)
議案第4号について説明いたします。
1番につきまして説明いたします。
参考資料は43～45ページです。
申請人は、議案のとおりとなっております、申請地は花正東浦地内の畑で、20年以上前から宅地として使用しているため証明が見込めます。提出された書類には、登記事項証明書があり、昭和20年より農地以外で使用していたことが確認できております。
以上です。

議長 　ただ今、事務局から説明がありました、議案第4号について、何かご質問等はございますか。

議長 　ご質問もないようですので採決に移ります。
議案第4号を承認することに賛成する農業委員の挙手を求めます。

(挙手全員)

議長 　挙手全員です。よって、議案第4号は承認されました。

議長 　日程第6 議案第5号「農地法第3条第2項第5号の規定により農業委員会
が定めていた別段の面積（下限面積）の撤廃について」を議題とします。
それでは、事務局の説明をお願いします。

事務局 (説 明)

議案第5号について説明いたします。

令和5年3月31日までは、農地法第3条の権利移動許可の要件の中に、譲受人が持つ農地の面積が3,000㎡以上でなければならない「別段の面積(下限面積)」という要件がありましたが、令和5年4月1日に農地法が改正された際に、その要件が撤廃されております。

下限面積の規定については、改正前農地法で都府県は50a、北海道は2haとなっておりましたが、農業委員会がその地域の実情をふまえて「別段の面積」を定め、これを公示したときは、その面積を下限面積とすることができました。

あま市においては別段の面積を3,000㎡とする旨の公示がなされておりました。しかし、農地法の改正に伴い下限面積が撤廃されたことにより、新たに農地の権利を取得する譲受人は、別段の面積の要件を満たす必要がなくなりました。

下限面積の規定の撤廃に伴い、別段の面積も撤廃となったことを新たに公示するため、本日議案として提出させていただきました。

以上です。

議 長 ただ今、事務局から説明がありました、議案第5号について、何かご質問等がございますか。

議 長 ご質問もないようですので採決に移ります。
議案第5号を承認することに賛成する農業委員の挙手を求めます。

(挙手全員)

議 長 挙手全員です。よって、議案第5号は承認されました。

議 長 日程第6 報告第1号「農地法第4条第1項第8号の規定による届出について」、報告第2号「農地法第5条第1項第7号の規定による届出について」、報告第3号「農地法第18条第6項の規定による届出について」を事務局から一括報告願います。

事務局 (報 告)

議 長 ただ今事務局から報告がありました、報告第1号から報告第3号について、ご質問・ご意見等ございませんか。

議 長 ご質問も無いようですので、質疑を終了します。

以上で本会の会議に付議された事案は、すべて議了しました。
よって閉会したいと思います。これにご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

議 長

異議なしと認めます。

以上で本日の議事は、すべて終了いたしました。長時間にわたりご苦労さまでした。

次回の農業委員会でございますが、5月19日(金)午前10時からの予定です。

最後にその他ということで、事務局からお願いします。

会議の経過を記載してその相違ないことを証するためにここに署名する。

令和5年5月10日

議 長 太田 昌史

署名委員 近藤 哲夫

署名委員 竹嶋 肇